

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいさぼーとmoana2 (多機能型児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年1月6日		～ 2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		～ 2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の活動に合わせて環境を整えています。	お子様の発達やその日の利用人数、活動に合わせて、環境を変化させて、お子様がより分かりやすく、集中しやすい環境作りを意識しています。	毎朝のミーティングで、活動内容の確認や活動プログラムをスタッフで話し合い、柔軟な思考で利用者に適切な環境と空間を提供できるようにしていきます。
2	児童一人ひとりに合わせた多様なプログラムを提供し、柔軟に対応できる点です。お子様の状態やペースに寄り添い、最適な支援を行えるよう努めています。	複数の支援員が連携して子どもの様子を観察し、支援方法を随時相談・見直しすることで、質の高いサポートを実現しています。通所されるお子様が、まずは楽しく通えるよう明るい雰囲気での支援を第一に心掛け、その上で、各職員がお子様の特性にあわせた支援を検討し、実施しております。また、朝礼では、来所されるお子様のご様子の展開を必ず実施し、職員間の情報共有に努めております。	児童一人ひとりの興味や課題に合わせた、プログラムをさらに充実させていきたいと思っております。職員間での情報共有、ケース会議などの実施を推進し、研修・自己研鑽のサポートなどによる職員の資質向上にも努めて参りたいと考えております。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の情報交換の場の提供が実現できておりません。	開催日や保護者様のニーズの多様性の検討していく必要があります。	保護者様のニーズを確認させていただき、職員間にて検討したいと考えております。
2	事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整っており、訓練も行っているが、実際の緊急事態が起こった際によりスムーズに対応できるよう、全従業員に周知と訓練を行う必要があると思っております。	マニュアルは情報量が多く、実際に対応する際に、スムーズではない可能性があります。	より手順を分かりやすくしたフローチャートの整備や、訓練が必要だと考えてます。
3			